



令和8年5月20日 (R8-003)

県政記者クラブ 各位

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

当センター職員が溶接技術奨励賞を受賞しました

地方独立行政法人岩手県工業技術センター（理事長 箱石知義／盛岡市）では、素形材プロセス技術部 久保貴寛 主任専門研究員が、一般社団法人溶接学会東北支部から2025年度溶接技術奨励賞を授与されましたのでお知らせします。

「溶接技術奨励賞」は、溶接学会の各支部において、溶接・接合技術に関する研究、開発、改良あるいはその実用化の功績顕著な者に贈られる賞です。

【 概要 】

- ◆ 受賞名：2025年度溶接技術奨励賞
- ◆ 授与団体：一般社団法人溶接学会東北支部
- ◆ 受賞者：素形材プロセス技術部 主任専門研究員 久保 貴寛（くぼ たかひろ）
- ◆ 表彰日：2026年5月16日(土)
- ◆ 受賞業績：種々の方法によるニオブの溶接・接合技術の研究開発



- ニオブは、多様な産業分野で使用されるレアメタルの一種です。その超電導特性を生かし、素粒子研究等を目的とした超電導加速器の加速空洞の材料として用いられます。
- これまで、加速空洞は電子ビーム溶接で製造されていましたが、装置コストの高さが企業参入の課題でした。また、ニオブを溶接・接合処理する際、周囲の酸素の影響によりニオブの超電導特性が低下することも課題となっていました。
- 本研究開発では、接合コスト低減や作業性向上を実現するため、摩擦圧接（部材を回転等による摩擦熱で接合する方法）及び高出力半導体レーザー溶接での接合方法を確立しました。なお、レーザー溶接では超電導特性低下の抑制を確認しました。将来的には、国際リニアコライダー（ILC）における超電導加速器製造への応用等も期待されます。

◆ 地方独立行政法人岩手県工業技術センター

「創るよろこび・地域貢献」を基本理念として、県内企業への幅広い技術支援を実施。

6部門の研究部（ものづくりDX推進部、機能材料技術部、素形材プロセス技術部、産業デザイン部、醸造技術部、食品技術部）を設置し、技術相談への対応、依頼試験や機器貸出、企業との共同研究などを行っています。

1873（明治6）年創立。2023年に創立150周年を迎えました。